

かけはし

赤の3組

～秋のダイナミックワールド号～

「秋のダイナミックワールド」において、赤の3組で展開されている遊び、その遊びが始まったきっかけなど、ご紹介させていただきます。各クラスの「かけはし」は、本園Webサイト「園からのお便り」のページにも掲載する予定です。よろしければ、ぜひ、他クラスの遊びの様子もご覧ください。

山梨県立美術館や大学キャンパスへ出掛け、紅葉した葉っぱや木の実を見つけるたびに、友達と見つめ合って「秋だねえ」と言いながら、色とりどりの“秋”を見つけてきた子どもたち。集めた自然物(木の実や落ち葉)を使って遊びはじめました。

ドングリクッキー屋さん

ドングリを使ってどんな遊びをしたいのか?と問いかけたところ、出てきた意見から生まれた遊び。



木の実拾いの帰り、バスの中で、こんなにたくさんのドングリ、どうやって遊ぶ?と子どもたちに聞くと、ドングリのクッキーがあったらかわいいね ドングリクッキーつくりたい!という意見が。



そこで、段ボールをいろいろな形に切っておくと、子どもたちがそれらをクッキーに見たててドングリのトッピングをはじめました。



たくさんのクッキーができると、「いらっしやいませ!」「どれにしますか?」とドングリクッキー屋さんの元気な声が響くようになってきました。

手づくり楽器演奏会

運動会のときにみた、黄組(年中)さんの竹太鼓にあこがれをもったことから生まれた遊び。

黄組さんみたいに
かっこいい竹太鼓、
やってみたい!



「黄組さんの竹太鼓をしてみたい!」とお兄さんお姉さんのお部屋へ行ってリズムを覚えてもらっていた子どもたち。「赤の3組にも竹太鼓がほしいな～」という声があがり、設置することに。

ドングリっていい
音するね!



竹をたく棒について、「もっと音が鳴るものないかなあ」と話しているとき、ある子が、「ドングリを箱やペットボトルに入れると音がするよ!」と発見。「僕もやってみたい!」とつくり出しました。



ドングリを中に入れた棒状の手づくり楽器や、空き箱でつくった太鼓も登場し、曲に合わせて楽しそうに演奏しています。

ドングリころころすべりだい

ドングリを転がして遊んでいたことから生まれた遊び。



ドングリってころころ
転がって面白いね!
滑り台すべってるみた
いだね!



ドングリの滑り台をつくらう!とみんなで力を合わせて箱をつなげ、長い滑り台のようにしていきました。



“ドングリころころ”のお歌みたいに、お池にはまっちゃうのもいいね!とイメージは広がっていきました。

足つぼ足湯・ドングリ虫(ゾウムシ)のおうち

集めたドングリから、次々とゾウムシが出てきたことから生まれた遊び。



ドングリの中
にいるのって
楽しそう!



ドングリを使って足つぼ足湯で遊んでいた子どもたちが、「虫がいる!」「ドングリに穴があいてる!」と発見。絵本や図鑑を見て、ドングリからゾウムシが生まれたのだと知りました。ドングリの中のゾウムシってどんな感じだろう?ドングリの中が気になりだした子どもたち。

ドングリの中に入りたい!と意見が出て、大きなドングリ(ゾウムシのおうち)をつくり、毎日かわいいゾウムシがひょっこり顔を出しています。「ドングリの中ってあったかい!」そんな発見もありました。

病院ごっこ

1学期から続いている遊び。



1学期に健康診断を受けた子どもたち。自分たちもお医者さんになってみたい!と遊びがはじまりました。



病院や担架、点滴なども少しずつつくっていき、さらに遊びが盛り上がり上がっていきました。



現在は、病院に来た患者さんにドングリのお薬を渡すお薬屋さんも登場しています。